

一般会計報告

- コミュニティセンター会計:2022年度の総収入は16,936,904円、支出額は16,936,904円、余剰金は1,370,126円でした。
- 図書館中山台分室会計:市からの業務委託料は5,137,506円、支出額は6,897,112円でした。

自 2022年4月 1日
至 2023年3月31日

(単位:円)

収入の部			
科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	1,831,481	1,831,481	現預金残高 1,831,481
市補助金	678,000	678,000	まちづくり補助金要領第5条1項1・2・3号事業
市補助金	0	370,000	まちづくり補助金要領第5条1項4号事業(デジタル化促進事業)分
社会福祉協議会助成金	273,000	273,000	助成金は福祉目的のため福祉活動部へ
自治会分担金	379,800	351,700	コミュニティ活動費として自治会より会員一所当たり100円×3,517戸、ジャルダンI・公団住宅未入金
寄付金	0	2,746,911	スポーツクラブ21中山桜台清算人より
その他の収入	40,000	30	利息
収入の部合計	3,202,281	6,251,122	
支出の部			
科目	予算額	決算額	備考
総務活動部会費	80,000	41,519	コピー、印刷費等総務事務経費
広報活動部会費	230,000	143,610	広報誌等広報活動編集発行費
地域文化活動部会費	246,000	162,897	講演会、コンサート等、事業活動費の一部として
福祉活動部会費	386,500	386,500	社協助成分273,000円含む。
緑化環境対策活動部会費	21,000	21,000	緑化事業活動費の一部として
生涯学習活動部会費	77,500	75,938	講座開催等、事業活動費の一部として
健康推進活動部会費	21,000	8,732	健康づくり等、事業活動費の一部として
子ども活動部会費	21,000	21,000	子ども事業活動費の一部として
災害対策活動部会費	21,000	21,000	防災事業等、事業活動費の一部として
スポーツレクリエーション活動部会費	0	115,800	令和4年度寄付金を使用。寄付金の残金は特定引当金に繰入
まちづくり事業費	230,000	218,005	五月台中学に設置した防災倉庫費用等
デジタル化促進事業	0	371,124	デジタル化促進事業補助金で充当
市補助金返戻金		206,700	前期補助金未使用による返戻金
特定引当金繰入		2,631,111	スポレク活動部の財源に特定(寄付金の残金)
予備費	1,868,281	1,826,186	現預金残高 4,457,297 (=特定引当金+次年度繰越金)
支出の部合計	3,202,281	6,251,122	

(注1) 各活動部の活動はコミュニティからの資金配分以外にも、それぞれ独自の財源により運営されているが上記各活動部の予算額はコミュニティからの拠出分のみの表示です。

*2023年度の中山台コミュニティ役員・常任評議員・運営委員会リストは「次号153号」に掲載させていただく予定です。



編集:中山台コミュニティ広報活動部
発行日:2023年(令和5年)6月10日
発行責任者:中山台コミュニティ会長 松下義弘
編集責任者:中山台コミュニティ運営委員長 平原雅明

宝塚市中山台コミュニティセンター
住所:〒665-0877宝塚市中山桜台5-15-2
TEL:0797-89-9605
URL:http://www.nakayama-comm.jp/

第153号



中山台コミュニティ11



2023年5月28日
山崎晴恵宝塚市長
ご臨席のもと、
開催されました。



中山台コミュニティ2023年度評議委員総会報告

2023年5月28日に開催された定期評議委員総会においてすべての議案が承認されました。いただいた貴重なご意見は中山台コミュニティの運営に活かしていきます。
議題 ①2022年度事業報告・収支決算及び監査報告 ②2023年度役員・委員の選任 ③2023年度年度常任評議員・運営委員の選任 ④2023年度事業計画及び予算報告

変化に対応した諸活動を! ～ポストコロナ時代にむけて～

中山台コミュニティ会長 松下義弘



3年に及んだコロナ禍は、5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に移行され、厳しかった生活もようやく普通の生活に戻りつつあるようです。まだマスク姿が多いようですが、これからは「自主的な感染対策により、新たな日常生活の創造(兵庫県)」という時代になりそうです。中山台地域のコミュニティ活動もコロナ前の状況になりつつあります。コミュニティセンターで行われているヨガ、健康体操、カラオケ、合唱、麻雀、手芸、英会話、楽器練習などは、コロナ前と余り変わらないようになっています。この3年間、書面総会になったコミュニティ、自治会の定時総会も今年是对面で開催されました。

しかし、コロナ前に比べ、様々な問題にも直面しています。電気代などエネルギー費、食品、日用品など諸物価の高騰が生活を苦しめています。これから増税の波も押し寄せて来るでしょう。少子高齢化も進みます。普段の生活もコロナ前より、厳しくなると思われます。

ネガティブに考えれば大変な時ということになりますが、ここはポジティブに考えましょう。昨年、中山台コミュニティ会長に就任にあたり、コミュニティ活動は「いきいき、のびのびとありたい」と申し上げました。「5類に移行」もあり重苦しさは和らいできました。中山台コミュニティセンターでも多くの皆さんが、元気に集まるようになってきました。時代は変わってきています。これからの活動は知恵をしぼって内容を変え、やり方を変え、その時代、それぞれの力量にあったものにしていけば道は開けるのではないのでしょうか。ポストコロナ時代の変化に対応したコミュニティ、自治会活動で乗り切っていきましょう!ダーウィン曰く「唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である」。